様式第１号（第３条関係）

**事務局受付番号**

代表発明者⇒所属学部長⇒支援センター長

名城大 　　発 第　　　号

令和　　年　　月　　日

発　明　届　出　書

　学術研究支援センター長　　殿

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ○○学部長　　　○○　○○ | | | 印 |
| 所属 | ○○学部　　○○学科 | | |  |
| 職名 | ○○ | 氏名 | ○○　○○ | ㊞ |

名城大学知的財産権管理規程施行細則第３条に基づき、下記のとおり届け出いたします。

記

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １　申請の種類 | □　特許　　　　　□　実用新案登録  □　意匠　　　　　□　新品種登録  ※いずれかをチェック☑してください。  ※その他の知的財産については、この届出書を使用せずに、学術研究支援センター知財担当までご相談ください。  問い合わせ先：chizai@ccml.meijo-u.ac.jp | | |
| ２　発明の名称 | ○○○○○○○○○○○○○○○○ | | |
| ３　発明の概要 | （例）本発明は、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に  　　おいて、○○○○○○○○○○○が得られる方式を提案する。 | | |
| ４　発明の経過 | （次頁「発明の経過」に記入） | | |
| ５　発明の状況 | (1) □　未発表　　　□　発表済み　　　　□　発表予定あり  　　※いずれかをチェック☑してください。 | | |
|  | (2) 発表済み又は発表予定ありの場合  ※原稿等の電子データを支援センターまでお送りください。 | | |
|  | □ | 刊行物・学会誌で発表 | |
|  |  | ［掲載誌名］ | ○○○○○○○○○○ |
|  |  | ［発行日］ | 令和　　年　　月　　日 |
|  | □ | 学会・研究集会で発表 | |
|  |  | ［学会名等］ | ○○○○○○○○○○ |
|  |  | ［発表日］ | 令和　　年　　月　　日 |
|  |  | ［予稿集発行日］ | 令和　　年　　月　　日 |

６　共同研究など権利の帰属についての条件など（☑を入れてください）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （1）共同研究先との契約の有無  　（共同研究先の機関名：　　　　　　　　　　　　　　） | □　有 | □　無 |
| （2）権利の帰属についての取り決めの有無 | □　有 | □　無 |
| （3）国家プロジェクト等による申告の必要性の有無 | □　有 | □　無 |

　（申告の必要性有の場合…プロジェクト名：　　　　　　　　　　（例）NEDO、JST等）

発　　明　　の　　経　　過

１　発明の経過（発明に至った研究課題との関連、応用開発か否かを含めて記入してください）

例）　申請者らはかねてから○○○○○○○○の研究を行ってきている。昨今の技術状況を話し合っているなかで、研究中の内容が現状技術を解決する手段として利用できることを確認した。

　　　　研究室にある◇◇◇◇◇◇を用いた動作シミュレーションを行なってみたところ、予期通りの特性把握が出来た。動作シミュレーションは実用規模で、かつ、実際的な数値を元に行った物であり、かつ、提案方式は△△△△△△として実績のある☆☆☆☆をベースにしているので、その実用性も高いと判断している

**＊発明者（考案者、育成者も同じ）について，全員を記入してください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 発　　　明　　　者  （所属機関・部局・職・氏名を記載すること） | 本学発明者の  発明貢献率  （合計を100％  　にしてください） | 権利の持分  （合計を100％  にしてください） |
| 本　学 | 代表者：○○　　○○　（○○学部・○○学科・○○）  　　　　○○　　○○　（○○学部・○○学科・○○） | ％  ％ | ％ |
| 民間等 | ○○　　○○　（株式会社○○・○○・○○） |  | ％ |

　※　発明者とは、当該発明の創作行為に現実に加担した者だけを指します。

発明者以外の者が含まれると、権利が無効となります。例えば、研究者の指示に従って

単にデータをまとめた者又は実験を行った学生等は、発明者には含まれません。

詳細につきましては、下記のリンクをご参照ください。

<https://sangaku.meijo-u.ac.jp/collaboration-past/ipr/>

　※　持分は予定のものを記入ください。

　※　本学発明者が複数人いる場合、各人の発明貢献率を記入してください。

発 明 の 概 要 説 明 書

１ 発明の名称　○○○○○○○○○○○○○○○○

２ 権利要件

①新規性（非同一性）

　　　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○で従来にはない新しい発明である。

②進歩性（困難性）

　　　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○で従来技術を組合せても得られない発明である。

③産業上の利用可能性

　　　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○のような分野で実用化すると好適である。

３ 共同研究企業との持分の案とその理由（共同研究の場合）

　　　　　　　　○○○○○○○○○○○○○○○○又は「共同研究企業なし」

　４　実用化の可能性とライセンス想定先

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実用化の可能性 |  | 実施検討中（ライセンス想定先）の  企業名 |
| * ５年以内に実用化 |  | ■ |
| * １０年以内に実用化 |  | ■ |
| * 実用化は未定または１０年より先 |  | ■ |

５ 先行調査状況

　　　調査範囲：　　「特許情報プラットフォーム」　特許・実用新案検索

<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/p0100>

　　　キーワード：　【○○○○○】 or 【○○○○○】　and 【○○○○○】

　　　　　　　　　　【　　　　　　】and 【　　　　　】

　　　調査結果：　○○件該当(別添のとおり)

　　　　　　　　　（例）これらはすべて、○○○○○○○○○○であり、本発明と○○○○○○○の点で異なる。

６　提出について

1. 発明届出書の原本（紙資料）➡所属の学部事務室へ提出
2. 発明届出書のWordファイルおよび発明の概要・実施例等の電子データ

➡学術研支援センター知財担当へメール送付（chizai@ccml.meijo-u.ac.jp）

